



必修問題と国家試験出題基準(平成30年版)との対照表

この表は、第96～106回の看護師国家試験の必修問題と推測される問題を、『保健師助産師看護師国家試験出題基準 平成30年版』（厚生労働省、2017）と照らし合わせて、『系統看護学講座』編集室で割りふった表です。出題傾向の参考としてください。

出題基準は定期的に改定されているため、厚生労働省のウェブサイトなどで最新の情報を確認しておきましょう。

- 表の見方>
- 精選：第95回(2006年)、第94回(2005年)からの精選問題。「95A6」は「第95回(2006年)の午前(AM)6番」をあらわす。
- 予想：本書『必修問題』に掲載されている予想問題。「予6」は「通し番号6番」をあらわす。
- 2007(96回)～2017(106回)：「A」は午前(AM)問題、「P」は午後(PM)問題をあらわす。なお、第103回(2014年)では追加試験が行われた。追加試験は問題番号の前に「追」を付した。

目標Ⅰ. 看護の社会的側面および倫理的側面について基本的な知識を問う。

大層	中項目	小項目	精選 予想	2007 96回	2008 97回	2009 98回	2010 99回	2011 100回	2012 101回	2013 102回	2014 103回	2015 104回	2016 105回	2017 106回		
1. 健康の定義と理解	A. 健康の定義	a. 世界保健機関(WHO)の定義														
		b. ウェルネスの概念														
	B. 健康に関する指標	a. 総人口									A1					
		b. 年齢別人口		A1					P1	P8		追A1 追P1	P7	A1		
		c. 労働人口														
		d. 将来推計人口	予10										A1			
		e. 世帯数						A9	P8		P9	P6		A8		
		f. 婚姻、家族形態								A9			P8			
		g. 出生と死亡の動向				A1		A1			A21	A1	P1		P1	
		h. 死因の概要		A3	A1		A1	A6	A23	A8	A8	P1	P2			
	i. 平均余命、平均寿命			A2					A1	P1	A2			P1		
	C. 受療状況	a. 有訴者の状況													A1	
		b. 有病率、罹患率			A7							追A2			A2	
		c. 受療行動、受療率										追P2	A2			
		d. 入院期間														
e. 外来受診の状況																
2. 健康に影響する要因	A. 生活行動・習慣	a. 食事と栄養						P1		A2 P7					P2	
		b. 排泄														
		c. 活動と運動、レクリエーション							P2			P25		A2		
		d. 休息と睡眠														
		e. 清潔と衣生活														
		f. 喫煙、嗜好品								P1	A2	追A3		P2		
		g. ストレス												A25		
		h. メンタルヘルス														
		i. ライフスタイル														
		j. 性行動														
		B. 生活環境	a. 水質、大気、土壌										P2		P3	P3
			b. 食品衛生						P3	P3						
	c. 住環境									P2		追A4			A20	
	C. 社会環境	a. 職業と疾病			A4	A2	A4	A22			P2		A25	A3		
		b. 労働環境、雇用形態											A3			
c. ワーク・ライフ・バランス																
d. 母性保護							P2		A3		追P3					
3. 看護で活用する社会保険	A. 医療保険制度の基本	a. 医療保険の種類						A2								
		b. 国民皆保険		A4		P2	A3			A3		A3				
		c. 国民医療費	予72		A5							A4		A3		
		d. 高齢者医療制度													P4	
		e. 給付の内容								A4		追P4				

大層	中項目	小項目	精選 予想	2007 96回	2008 97回	2009 98回	2010 99回	2011 100回	2012 101回	2013 102回	2014 103回	2015 104回	2016 105回	2017 106回	
	B. 介護保険制度の基本	a. 保険者	予 77												
		b. 被保険者							P3					A4	
		c. 給付の内容		A2					P4		P3		P9	A4	
		d. 要介護・要支援の認定					A10					P3	P4		
		e. 地域支援事業													
4. 看護における倫理	A. 基本的人権の擁護	a. 個人の尊厳													
		b. 患者の権利												A5	
		c. 自己決定権と患者の意思												P4	
		d. インフォームド・コンセント		A5				A3			A4		A4		
		e. ノーマライゼーション				A3						A5			
		f. 情報管理（個人情報情報の保護）													
	B. 倫理原則	a. 自律尊重													
		b. 善行										P4			
		c. 公正, 正義													
		d. 誠実, 忠誠													
		e. 無危害													
	C. 看護師等の役割	a. 説明責任													
		b. 倫理的配慮	予 99												P5
		c. 権利擁護（アドボカシー）					A5			A5					
		d. エンパワメント													
5. 看護に関わる基本的法律	A. 保健師助産師看護師法	a. 保健師助産師看護師の定義										追 P5			
		b. 保健師助産師看護師の業務				P4					P4		P5	A5	
		c. 保健師助産師看護師の義務（守秘義務, 業務従事者届出の義務, 臨床研修等を受ける努力義務）			P3		A4 P5	P4			P8				
		d. 養成制度									A5				
	B. 看護師等の人材確保の促進に関する法律	a. 基本方針					P5					追 A5			
		b. ナースセンター													

目標Ⅱ. 看護の対象および看護活動の場と看護の機能について基本的な知識を問う。

大層	中項目	小項目	精選 予想	2007 96回	2008 97回	2009 98回	2010 99回	2011 100回	2012 101回	2013 102回	2014 103回	2015 104回	2016 105回	2017 106回	
6. 人間の特性	A. 人間と欲求	a. 基本的欲求		A6	A6				P6		P5	追 A24			
		b. 社会的欲求							A6				P5		
	B. 対象の特性	a. QOL				A4						追 P6			
		b. ニーズ													
c. 健康や疾病に対する意識															
		d. 疾病・障害の受容							P5						
7. 人間のライフサイクル各期の特徴と生活	A. 胎児期	a. 形態的発達と異常						A5 A14	A7 P10	A6				P6	
	B. 新生児・乳児期	a. 発達の原則													
		b. 身体の発育				P4	A7 P6			P6	P6	A6 追 P7			A6
		c. 運動能力の発達													
		d. 栄養												P25	
		e. 親子関係						A16			P8		P6		
	C. 幼児期	a. 身体の発育						A8	P7		A7 P7	追 A6			P21
		b. 運動能力の発達													
		c. 言語の発達						P7							
		d. 社会性の発達													
		e. 基本的生活習慣の確立													

大 目	中項目	小項目	精選 予想	2007 96回	2008 97回	2009 98回	2010 99回	2011 100回	2012 101回	2013 102回	2014 103回	2015 104回	2016 105回	2017 106回	
	D. 学童期	a. 運動能力の発達、 体力的特徴												P6	
		b. 社会性の発達	予 144												
		c. 学習に基づく行 動													
	E. 思春期	a. 第二次性徴			A8	A8		P8				P5			A7
		b. アイデンティ ティの確立										P24			
		c. 親からの自立											A6		
		d. 異性への関心													
	F. 成人期	a. 社会的責任と役 割													
		b. 生殖機能の成熟 と衰退	予 153			A9							A7		
		c. 基礎代謝の変化									A9				P8
	G. 老年期	a. 身体的機能の変 化			A9	A10	P5			A8		追 P8		P7	A8
		b. 認知能力の変 化										追 A7	A7		
c. 心理社会的変 化															
8. て の 患 者 と 家 族 と し	A. 家族の機能	a. 家族関係										追 P9			
		b. 家族構成員													
		c. 疾病が患者・家 族に与える心理・社会的影響	予 165												
	B. 家族形態の 変化	a. 家族の多様性													
		b. 構成員の変化													
9. 主 な 看 護 活 動 の 場 と 看 護 の 機 能	A. 看護活動の 場と機能	a. 病院		A10						A10				A9	
		b. 診療所					P9							P8	
		c. 助産所	予 170												
		d. 訪問看護ステー ション													
		e. 介護保険施設						A7				追 A25	A8		P9
		f. 地域包括支援セ ンター										P7			
		g. 市町村						P9				A8			
		h. 保健所												A9	
		i. 学校													
		j. 企業													
	B. 看護の機能 と役割	a. 訪問看護													
		b. チーム医療							A8	P9		追 P10	A9 P10	A10	
		c. 退院調整													
		d. 入院のオリエン テーション（入 院相談）													
		e. 地域医療連携													P9
f. 家族との調整															

目標Ⅲ. 看護に必要な人体の構造と機能および健康障害と回復について基本的な知識を問う。

大 目	中項目	小項目	精選 予想	2007 96回	2008 97回	2009 98回	2010 99回	2011 100回	2012 101回	2013 102回	2014 103回	2015 104回	2016 105回	2017 106回		
10 人 体 の 構 造 と 機 能	A. 人体の基本的な構造と正常な機能	a. 内部環境の恒常性								A13						
		b. 神経系	予 203		A14										P11	
		c. 運動系		A13			A11							P11		
		d. 感覚器系									P13					
		e. 循環器系							P10			A24			A11	
		f. 血液、体液		A11	A13					A10	P10		A21	A13	P17	
		g. 免疫系			A11 A12									A10		
		h. 呼吸器系						P10								
		i. 消化器系	予 205						A9			P9	P22			
		j. 栄養と代謝系					P1				A22					
		k. 泌尿器系		A12								A10		P10		
		l. 体温調節											P11			
		m. 内分泌系					A6	A2 P14	P11	A18		追 A22 追 P11		A11		

大層	中項目	小項目	精選 予想	2007 96回	2008 97回	2009 98回	2010 99回	2011 100回	2012 101回	2013 102回	2014 103回	2015 104回	2016 105回	2017 106回	
	B. 人間の死	n. 性と生殖器系					A6						A7		
		o. 妊娠・分娩・産褥の経過		A7 A14		P6	P11	P12		A11	追A9	A5 A11	A6	A25	
		p. 遺伝													
		a. 死の三徴候					A12		A11		P10				
		b. 死亡判定													
		c. 脳死			A7		A10					A12			
		d. 死の受容	95A6											P12	
11 疾患と徴候	A. 主要な症状と徴候	a. 意識障害					P12							P18	
		b. ショック		A18				P25			P11 追P12		P12		
		c. 高体温, 低体温											P13		
		d. 脱水									追A10				
		e. 黄疸						P13		P11	A12				
		f. 頭痛											A13		
		g. 咳嗽, 喀痰												P13	
		h. 吐血, 咯血			A15										A12
		i. チアノーゼ				P7	A13		P11	A12			P14		
		j. 呼吸困難										P12	A14		
		k. 胸痛							A11						A13
		l. 不整脈		A15		A9							A12	A14	
		m. 腹痛, 腹部膨満			A16					A12	P22				
		n. 悪心, 嘔吐				A8			P14			A13			
		o. 下痢													
		p. 便秘			A17			P13				追P13			
		q. 下血													P13
		r. 乏尿, 無尿, 頻尿, 多尿					P8			P12		P13			P14
	s. 浮腫		A16								追A11		P14		
	t. 貧血		A17	A18			A12		P12			P15	P15		
	u. 睡眠障害														
	v. 感覚過敏・鈍麻														
	w. 運動麻痺	94A18												A14	
	x. けいれん														
	y. 気分(感情)障害														
	B. 主要な疾患による健康障害と基本的な回復過程	a. 生活習慣病	予294		A3			A15		P14		A14 追A8	A15	A15	
		b. がん							P15	A13	A14				
		c. 感染症		A19	A20	P9	P15	A13	P15	P14	P15	P3			P15
d. 精神疾患							P16	A14	P23	追A12 追A14		A16	A15		
e. 小児の疾患														P16	
f. 高齢者の疾患							A23			A23					
C. 基本的な臨床検査値の評価	a. 血液学検査														
	b. 血液生化学検査														
	c. 免疫血清学検査														
	d. 尿検査														
12 薬物の作用とその管理	A. 主な薬物の作用と副作用(有害事象)	a. 抗感染薬					P16			A15	追P14		P16		
		b. 抗癌薬		A21					P16		追P16	P16			
		c. 強心薬, 抗不整脈薬			A21		A14					P14			
		d. 狭心症治療薬		A23	A19	A10		P17							
		e. 抗血栓薬													
		f. 降圧薬, 昇圧薬								A15		P19			
		g. 利尿薬													
		h. 消化性潰瘍治療薬													
		i. 下剤													
		j. 抗アレルギー薬													
		k. 副腎皮質ステロイド薬							A24		P24			A17	
		l. 糖尿病治療薬				P10	P21						A16		
		m. 中枢神経作用薬													
		n. 麻薬								A16		追P15	P17		
		o. 消炎鎮痛薬										A15			

大書	中項目	小項目	精選 予想	2007 96回	2008 97回	2009 98回	2010 99回	2011 100回	2012 101回	2013 102回	2014 103回	2015 104回	2016 105回	2017 106回
	B. 薬物の管理	a. 禁忌			A22	A11		P18			追 P17	A17		
		b. 保存方法					P17		P17		P16			
		c. 薬理効果に影響する要因	予 357							A23			P17	

目標Ⅳ. 看護技術に関する基本的な知識を問う。

大書	中項目	小項目	精選 予想	2007 96回	2008 97回	2009 98回	2010 99回	2011 100回	2012 101回	2013 102回	2014 103回	2015 104回	2016 105回	2017 106回	
13 看護における基本技術	A. コミュニケーション	a. 言語的コミュニケーション													
		b. 非言語的コミュニケーション										P18			
		c. 面接技法					A18	A15			追 A15				
	B. 看護過程	a. 情報収集、アセスメント					P19	P19				A19 P17			
		b. 計画立案													
		c. 実施													
		d. 評価													
		e. 記録方式								P18					
	C. フィジカルアセスメント	a. バイタルサインの測定			A23	A5 P11				A17		追 A13	P19		
b. 意識レベルの評価		予 372	A24	A24							A11				
c. 呼吸音聴取			A25			P18					追 P18				
d. 腸蠕動音聴取															
e. 運動機能の観察							A19				A25	A18			
14 日常生活援助技術	A. 食事	a. 食事の環境整備、食事介助												A18	
		b. 誤嚥の予防				A12		A16		P15	追 P22				
	B. 排泄	a. 床上排泄								P19			A19		
		b. 導尿		A29		P12				P20	A16		P20		
		c. 浣腸							P20		P16	A16 追 P19		P19	
		d. 摘便													
		e. 失禁のケア									P25	追 P20		A18	
	C. 活動と休息	a. 体位、体位変換									A24				P20
		b. 運動													
		c. 移動、移送					A13		P21			A17			
		d. ボディメカニクス		A26			A21						A20		
		e. 廃用症候群の予防								A20	P17	追 A17			
		f. 睡眠													
	D. 清潔	a. 入浴										追 A16			
		b. 清拭												P19	
		c. 口腔ケア							A17					A19	
		d. 洗髪												P18	
		e. 部分浴												A19	
		f. 陰部洗浄										追 P21			
g. 整容															
h. 寝衣交換							P20		P21	A17	P18				
15 患者の安全・安楽を守る看護技術	A. 療養環境	a. 病室環境							A19		追 A18	P21	A20		
		b. 共有スペース													
		c. 居住スペース													
	B. 医療安全対策	a. 転倒・転落の防止													
		b. 誤薬の防止		A22											A17
		c. 患者誤認の防止							A18						P7
		d. 誤嚥・窒息の防止	94A15												
		e. 情報伝達と共有・管理					A22	P22			A9				A10 P10
	C. 感染防止対策	a. 標準予防策（スタンダードプリコーション）		A28		P13				A25	A18			P20	
		b. 手洗い													

大層	中項目	小項目	精選 予想	2007 96回	2008 97回	2009 98回	2010 99回	2011 100回	2012 101回	2013 102回	2014 103回	2015 104回	2016 105回	2017 106回	
16 診療に伴う看護技術		c. 無菌操作						A25							
		d. 滅菌と消毒				A14	P22							A21	
		e. 針刺し・切創の防止													P22
		f. 感染性廃棄物の取り扱い			A25							A18			
	A. 栄養補給	a. 経管・経腸栄養法	a. 経管・経腸栄養法			A26			P23			追 P23		P21	
			b. 経静脈栄養法												
	B. 薬物療法	a. 与薬方法	a. 与薬方法		A20 A27	A27	P14	A23	A19	P22		追 P24		A21 A22	
			b. 薬効・副作用(有害事象)の観察					A17					A22		A16
	C. 輸液・輸血管理	a. 刺入部位の観察	a. 刺入部位の観察									P21			
			b. 輸液ポンプ、シリンジポンプ				A15		P24			追 A19	P23		
			c. 点滴静脈内注射								P18	P20		P22	A22
			d. 輸血												
	D. 採血	a. 穿刺部位	a. 穿刺部位									A20			
			b. 採血方法							A21	A25		A23	A23	
	E. 巻法	a. 巻法の種類と適応	a. 巻法の種類と適応									P22			
			b. 温巻法					P23		P23	P19			P23	
c. 冷巻法														P23	
F. 呼吸管理	a. 酸素療法の原則	a. 酸素療法の原則			A28		P24				A21				
		b. 酸素ボンベ							A22		追 A23	P24			
		c. 酸素流量計													
		d. 鼻腔カニューラ													
		e. 酸素マスク												A24	
		f. ネプライザー													
		g. 口腔内・鼻腔内吸引												P24	
		h. 気管内吸引			A29		A24				A19	追 P23 追 A20			A23
		i. 体位ドレナージ							A20				A24		
G. 救命救急処置	a. 気道の確保	a. 気道の確保							P13			P12		P25	
		b. 人工呼吸													
		c. 胸骨圧迫		A30	A30					P24					P24
		d. 直流除細動器										P25			
		e. 自動体外式除細動器 (AED)				P15					P20				
		f. 止血法	95A30												
		g. 体温管理													
		h. トリアージ					P25	A21			P21	追 A21			
H. 皮膚・創傷の管理	a. 包帯法	a. 包帯法												A24	
		b. 創傷管理					A20 A25				A22				
		c. 褥瘡の予防・処置							P25	A20	追 P25				